

かわ

Vol.211 2011.10.1

Contents

- 河川協会通常総会 P1~P2
- 河川愛護絵画コンクール P3~P8
- 河川功労者表彰
- 福岡の身近な川とさかなを知ろう P9~P10
No16 西郷川で泳ぐ!
- 水辺の鳥図鑑/協会からのお知らせ P11



平成23年度 福岡県河川協会通常総会

福岡県河川協会通常総会は、平成23年7月29日
(金)午後2時から、福岡市博多区千代1丁目のホテル

レガロ福岡において、来賓、役員、会員、参与等約80
名の出席のもと盛大に開催された。



会長あいさつ

福岡県河川協会会長

十中 大雅

Daiga Junaka

(平成23年7月29日・総会)

今日は、平成23年度福岡県河川協会通常総会を開催いたしましたところ、ご来賓の皆様、役員の皆様、会員の皆様には、大変暑い中、また、ご多用中にもかかわらず、多数ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

皆様方におかれましては、日頃から本協会の運営につきまして、格別のご指導、ご協力を賜り、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

私は、去る5月17日、福岡県議会県土整備委員長に選任され、併せて福岡県河川協会会長に就任させていただきました。今後ともよろしく願いいたします。

まず、今回の東日本大震災で亡くなられた多くの皆様方々に対しまして御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

本協会は、設立以来今日まで、多くの先輩方のご尽力をはじめ、皆様方のお力添えによりまして、治水事業、災害復旧事業、河川開発事業など、本県河川行政の推進に寄与して参り、今年で設立満60周年を迎えることができました。これも一重に皆様の御協力のおかげと感謝いたしております。

さて、昨今は異常気象が問題となっておりますが、我が国でも、毎年のように各地で干ばつによる給水制限や局地的な豪雨による土砂災害や家屋の浸水被害が発生いたしております。

本県では、平成15年7月19日の集中豪雨により、福岡市や飯塚でまたその周辺地域に甚大な被害が発生しました。その後は幸い本県では大きな水害は発生いたしておりませんでした。昨年、一昨年と2年連続して大雨が降り、多数の尊い生命が奪われたほか、多くの道路、河川等の公共土木施設が損壊をし多大の被害を受けましたことは、記憶に新しいところでございます。

このような現状を考えますと、災害に強い川づくりや渇水対策等にも備えたダム建設等、計画的に治水事業を進めていかなければなりません。

協会といたしましては、県土の保全及び安全・安心な県民生活を守るため、国土交通省に対し、福岡県の河川整備の促進について要望し、また、県選出の国会議員にもその実現にご尽力を賜るよう、陳情を行いたいと考えておりますので、会員各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本日ご出席の皆様方の今後益々のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。



福岡県、福岡県議会から来賓としてご臨席をいただき、会長あいさつ、来賓あいさつの後、河川愛護絵画コンクール入賞者表彰、河川功労者表彰を行った。次に、「県の河川事業及び河川総合開発事業の概要」について、池永河川課長及び後藤河川開発課長から説明がなされた。

則の一部改正、平成22年度会務及び事業報告並びに決算の報告、平成23年度事業計画案及び予算案、役員を選任等が審議され、いずれも原案どおり議決承認された。

議事は、十中会長を議長に、河川協会規約及び細

最後に、要望決議案が上程審議され、満場一致で採択され、後日、関係機関、地元選出国會議員に要望することとなった。

要望決議

福岡県における河川改修やダム建設の取り組みは、これまで河川法の精神である治水・利水・環境、それぞれの目的に沿って鋭意推進していただいているところであるが、未だ満足すべき状況には到っていない。

本年3月11日に起きた東日本大震災により、東北3県を中心に多くの尊い人命と多くの公共施設等の資産を失う甚大な被害を受けた。

また、最近局地的大雨の発生頻度の高まりや渇水頻度の増加に対して安全で安心できる県土づくりが求められている。

さらに、ストレスの多い社会生活の中で河川環境に安らぎを求める人々が多いことや生物多様性の保全を進めるうえで河川環境の保全・再生が求められており、快適で潤いのある循環型の県土づくりが求められている。

ここに、福岡県河川協会は、平成23年度通常総会の総意に基づき、次の事項の実現を強く要望する。

1. 治水対策の根幹である河川改修やダム整備を計画的に推進すること。

1. 河川等の整備を推進するとともに、河川防災情報基盤の整備などによる情報伝達の充実や危険箇所・浸水想定区域の視覚化などのソフト対策の充実強化を図り、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策を強力に推進すること。

1. 日頃の維持管理水準を高め、災害を未然に防止し、快適な河川環境を維持すること。また、大規模地震に備え、河川堤防等の耐震対策を着実に推進すること。

1. 災害が発生した場合には、迅速な対応を実施するとともに、集中的かつ機能的な災害復旧事業及び改良普及事業を積極的に推進すること。

1. 安定的な水の供給を図るため、水資源開発を推進すること。

1. 地方自治体財政の現況に鑑み、河川事業に要する地方財源措置について、特段の配慮を講ずること。

以上決議する

平成23年7月29日

福岡県河川協会通常総会

平成23年度

河川愛護絵画コンクール

平成23年度

河川愛護絵画コンクール表彰式を行いました！

今年も、河川愛護月間(7月1日から7月31日)の行事の実施に当たり、河川愛護意識の高揚を図るために、小学校児童を対象とした河川愛護絵画コンクールの作品応募がありました。「わたしたちと川の関わり」をテーマに、児童が日頃親しんでいる川との関わりや、こうあってほしいなという願いをこめた作品が多く寄せられました。ここでは、特選の三名の作品、1等6名の作品と全入賞者を紹介します。また、来年度(平成24年)の河川愛護ポスターには、特選作品を採用予定です。



表彰式の様子

絵画コンクール
入賞発表



特選 [低学年]

かまち
柳川市立蒲池小学校2年

ともぞえ ひな
友添 日南さん

わたしは、弟と、さかなを、とっているところを書きました。川がきれいで、みんながおよげるくらいきれいな川だいいなと思って書きました。きれいな川だと、さかなも、きもちよくおよげと思います。川をきれいにするには、みんなが、川にごみをすてるのをやめて、川にごみをすてている人にちゅういして、きれいな川を作るといいと思います。

いつまでも、きれいな川でみんながたのしくあそべたらいいなと思って書きました。

講評

さかなとりをした時の、さかながとれた瞬間の喜びの表情がよく描かれていて、こちらまでうれしさが伝わってきます。カニをつかまえてビックリしている友達や、さかな一匹一匹の表情までしっかり描かれており、児童がどんな絵にしようかよく考えてつくり上げたことがわかります。

特選[中学年]

かにとりは楽しいよ

柳川市立^{や か べ}矢ヶ部小学校3年
^{や ま くち} ^{わ た る}
山口 航くん



講評

川の中にもぐって遊んだ楽しい思い出が伝わってきます。構図の取り方が大胆であり、人を左下に向かって配置したおかげで、絵に躍動感が出たことと同時に、自然とカニに目が向かうようにできています。絵の具やパスを何度も塗り直しており、色味を自分のイメージに近づけようとがんばった跡が見えます。

ぼくは、お兄ちゃんと一緒にかにをつかまえに行きました。かにには、岩の下にかくれていました。魚も元気よく泳いでいました。水はどうめいで水の中の生物たちがあちらこちらに見えました。ざりがにをお兄ちゃんがにげないようにすばやくつかまえました。

川がきれいだと、たくさんの生物たちが楽しく泳いでいるし、ぼくたちをたのしませてくれます。こんなきれいな川がどこにでもあったらいいなと思いました。

かにとりは、いっぱいとれて楽しかったです。来年もまた行きたいです。そんな気持ちを絵に書きました。にゅうせんできてうれしかったです。

特選[高学年]

みんなが遊べる川を守ろう

かたしま
荻田町立片島小学校6年
^{にし} ^{や ま} ^ち ^{は る}
西山 千春さん



講評

腰に力を入れ、ぐっと両足を踏ん張って魚をすくう様子がいきいきと表現されています。きれいで速い川の流れや、地面、魚の形の表現など多くの工夫点があり、それぞれがいていねいに描かれています。友達やカニの位置、色の使い分けなど、かなり構想を練った上でこの絵に取り組んだことがわかります。

私がかいた絵で、工夫した所は川の水や、石のぬり方です。川の水は、流れを筆で表現しました。石は一つ一つの大きさや色にこだわってぬりました。

私の絵にはテーマがあります。子ども達が遊んでいる様子をかけば川を大切にしようと思ってもらえると考えました。私は川に缶やペットボトルなどのごみが落ちているのをよく見ます。それは人がごみをすてて、川の流れといっしょに流れて来たからです。ごみを捨てている人がいるということです。今では、川などの自然を守る活動をしている人もいます。だから、ごみを捨てては拾うのくり返しではきりが無いと思うので、川などの自然のためにも、ごみを捨てないでほしいと絵に想いがこめられています。でも、人間のためではなく生物のためでもあると分かるともらえる嬉しです。



かたしま
うえの まなみ
荻田町立片島小学校6年 **上野 愛生さん**



せつまる
たなか ひろあき
みやこ町立節丸小学校3年 **田中 宏晃くん**



しらかわ
なかむらあやの
荻田町立白川小学校5年 **中村 彩乃さん**



あか かみあか
さかい はると
赤村立赤小学校 上赤分校2年 **境 晴斗くん**



きどももか
木戸 桃花さん
行橋市立椿市小学校4年



なかはら かいせい
みのしま
行橋市立菟島小学校1年 **中原 海惺くん**



全体講評 本年度の作品は、川についての思い出や経験を基に主題を決めた絵が多かったようです。それらは実際に自分が体験したことなので、描かれている行動や背景が具体的であり、作品から気持ちや考えが伝わってきやすいというよさがあります。裏返して考えると、そういった経験のできる河川が県下に多くあるということなのかもしれません。指導の先生方におかれましては、今後とも、児童が感じたことや想像したことから表したいことを見付け、のびのび製作することのできる環境を作っていただきますよう、お願いいたします。

福岡県教育庁教育振興部 義務教育課 指導主事 中島賢二

平成23年度

河川愛護絵画コンクール入賞者

(敬称略)

特選

友添 日南	2年	柳川市立蒲池小学校
山口 航	3年	柳川市立矢ヶ部小学校
西山 千春	6年	苅田町立片島小学校

一等

中原 海惺	1年	行橋市立蓑島小学校
境 晴斗	2年	赤村立赤小学校 上赤分校
田中 宏晃	3年	みやこ町立節丸小学校
木戸 桃花	4年	行橋市立椿市小学校
中村 彩乃	5年	苅田町立白川小学校
上野 愛生	6年	苅田町立片島小学校

二等

澤山 雄多	1年	行橋市立泉小学校
隈 晴澄	1年	柳川市立矢ヶ部小学校
森元 携太	2年	みやこ町立節丸小学校
稲又 希虹	2年	柳川市立二ツ河小学校
積 龍乃介	3年	苅田町立片島小学校
稲垣 汰輝	3年	苅田町立片島小学校
古賀 寛人	4年	柳川市立矢ヶ部小学校
春本 渚	4年	みやこ町立祓郷小学校
加来 文子	5年	みやこ町立祓郷小学校
藤原 壱成	5年	みやこ町立祓郷小学校
田原 青空	6年	みやこ町立節丸小学校
辻 将弘	6年	苅田町立片島小学校

三等

春本 武留	1年	みやこ町立久保小学校
守田 聖磨	1年	行橋市立蓑島小学校
堤 奏太	1年	柳川市立蒲池小学校
傅 李花	2年	柳川市立蒲池小学校
金丸 航太	2年	みやこ町立節丸小学校
田口 朔也	2年	赤村立赤小学校 上赤分校
迫田 翔吾	3年	みやこ町立節丸小学校
有吉 佑朋	3年	苅田町立片島小学校
重村 采音	3年	苅田町立片島小学校
奥 健太郎	4年	行橋市立今元小学校
西村 勇輝	4年	柳川市立矢ヶ部小学校
前田 海帆	4年	みやこ町立柳瀬小学校
吉元 蓮	5年	みやこ町立祓郷小学校
林 耀大	5年	みやこ町立豊津小学校
中村 凌子	5年	苅田町立白川小学校
白谷 一希	6年	柳川市立大和小学校
川本 隆太郎	6年	みやこ町立節丸小学校
城戸 美穂	6年	みやこ町立節丸小学校

佳作

田中 姫夏	1年	柳川市立矢ヶ部小学校
大橋 優	1年	柳川市立矢ヶ部小学校
竹中 すず	1年	みやこ町立久保小学校
松本 亮輔	1年	みやこ町立久保小学校
高畑 光希	1年	行橋市立泉小学校
中川 皓太	1年	行橋市立蓑島小学校
矢野 慶次郎	1年	直方市立新入小学校
坂本 陽菜	1年	みやこ町立節丸小学校
比江島 光洋	1年	みやこ町立柳瀬小学校
前田 海月	1年	みやこ町立柳瀬小学校
乗富 章光	2年	柳川市立矢ヶ部小学校
中川 恵里	2年	みやま市立竹海小学校
大淵 賢太	2年	柳川市立昭代第一小学校
古賀 彩花	2年	柳川市立矢ヶ部小学校
加藤 生弥	2年	柳川市立東宮永小学校
星野 聖	2年	柳川市立蒲池小学校
田中 旺昂	2年	みやこ町立節丸小学校
田代 あやか	2年	直方市立新入小学校
井上 颯真	2年	柳川市立二ツ河小学校
高橋 亮太	3年	苅田町立片島小学校
北原 蓮太	3年	みやま市立竹海小学校
岡村 滉大	3年	直方市立上頓野小学校
田中 一咲	3年	柳川市立矢ヶ部小学校
三角 賢斗	3年	直方市立上頓野小学校
柿添 里奈	3年	柳川市立東宮永小学校
山田 みはる	3年	柳川市立東宮永小学校
杉本 葉璃	3年	みやこ町立久保小学校
江口 優真	3年	柳川市立矢ヶ部小学校
井上 晶	4年	行橋市立椿市小学校
平河 杏樹	4年	みやこ町立諫山小学校
新貝 優花	4年	行橋市立椿市小学校
中野 佑紀	4年	みやこ町立柳瀬小学校
楠本 琴音	4年	みやこ町立柳瀬小学校
笠 那奈美	4年	柳川市立矢ヶ部小学校
繁永 美穂	4年	みやこ町立豊津小学校
岩瀬 綾乃	4年	みやこ町立柳瀬小学校
高辻 凜	5年	みやこ町立節丸小学校
原田 彩良	5年	みやこ町立節丸小学校
安永 舟汰	5年	直方市立新入小学校
田中 里桜那	5年	みやこ町立節丸小学校
内丸 古都	5年	行橋市立稗田小学校
中西 彩花	5年	苅田町立白川小学校
進 瑞月	5年	みやこ町立節丸小学校
西村 翔汰	5年	苅田町立白川小学校
坂田 愛実	5年	みやま市立下庄小学校
福島 翔太	6年	みやこ町立豊津小学校
林 佳歩	6年	苅田町立片島小学校
松尾 理子	6年	柳川市立蒲池小学校
円城寺 加織	6年	行橋市立稗田小学校
新保 はるか	6年	苅田町立苅田小学校
五島 弘一朗	6年	行橋市立行橋小学校
深田 捺生	6年	みやこ町立節丸小学校
能方 実奈子	6年	みやこ町立祓郷小学校
大神 悠斗	6年	みやこ町立豊津小学校
角谷 和慶	6年	苅田町立苅田小学校



河川愛護絵画コンクール参加校

- 柳川市立 矢ヶ部小学校
- 〃 柳河小学校
- 〃 東宮永小学校
- 〃 昭代第一小学校
- 〃 二ッ河小学校
- 〃 中島小学校
- 〃 大和小学校
- 〃 蒲池小学校
- みやま市立 竹海小学校
- 〃 下庄小学校
- 苅田町立 苅田小学校
- 〃 片島小学校
- 〃 白川小学校
- 〃 南原小学校
- 直方市立 新入小学校
- 〃 上頓野小学校

- 大牟田市立 上内小学校
- 行橋市立 泉小学校
- 〃 行橋南小学校
- 〃 行橋小学校
- 〃 延永小学校
- 〃 稗田小学校
- 〃 箕島小学校
- 〃 椿市小学校
- 〃 今元小学校
- みやこ町立 久保小学校
- 〃 諫山小学校
- 〃 豊津小学校
- 〃 節丸小学校
- 〃 祓郷小学校
- 〃 柳瀬小学校
- 赤村立 赤小学校上赤分校

※参加校にはサッカーボール等を贈らせていただきます。





河川功労者表彰

河川の維持管理に多大な貢献をされた皆様に対して7月29日の通常総会の席上で、表彰を行いました。河川功労者とは、河川の機能保全、改善のために、特に力を尽くしその功績顕著な個人並びに団体の事を指します。

知事表彰は2団体1名、河川協会長表彰は、4団体6名で次のとおりです。

福岡県知事表彰

- (豊前市) す だ が わ か せん まも かい 角田川河川を守る会 様
- (豊前市) いわ たげがわ まも かい 岩岳川を守る会 様
- (八女市) あきやま あつ こ 秋山 敦子 様



河川協会会長表彰

- (久留米市) たまおき ひろ し 玉置 弘司 様
- (久留米市) く が ひろ のり 空閑 裕典 様
- (直方市) ほうじんの おがたかわ かい NPO法人直方川づくりの会 様
- (八女市) はまぐち とし こ 濱口 年子 様
- (北九州市若松区) にし くせいぶ かせんあいごかい 西26区西部河川愛護会 様
- (北九州市八幡西区) ざる たしもしゅうへん まも かい 猿田下池周辺を守る会 様
- (北九州市戸畑区) てんらい じあい せんかい 天籟寺愛川会 様
- (北九州市若松区) おおがい ぶんいち ろう 大貝 文一郎 様
- (遠賀郡遠賀町) ちかまつ てる こ 近松 照子 様
- (遠賀郡水巻町) お がわ つよし 小河 剛 様

表彰式の様子



ふくおかの身近な川と さかなを知ろう



No.16 西郷川で泳ぐ!

緩傾斜自然護岸

この読み物がみなさんの前に登場するのは秋頃なのですが、書いている今は夏真っ盛り!今年の夏は、去年よりも涼しいような気がしますが、、、でも、やはり暑い。こんな暑い毎日の皆さん方の楽しみは何ですか?私は仕事から帰った後の冷たいビール。ジョッキを家の冷凍庫でギンギンに冷やし、それにビールを注いで、キュッといくのが毎日の楽しみです。ちなみに、先日、家に届けられた病院からの健診結果を、妻が真っ先に開封・チェックしたため、 γ -GTPの異常な高さが発覚し、今年の我が家の冷蔵庫の中にはノンアルコールビールしか入っておりません。楽しみも半減です。

そして、ついに暑い夏の週末を悩ませる、我が家の長男の夏休みも始まりました。体を動かすと暑いですし、外で遊ぶのも暑いですし、涼しい場所で静かに遊べると良いのですが、子どもに夏の暑さは関係ないようで、、、うちの場合、1位は公園で野球、2位は電車に乗ってお出かけ、3位は魚釣りです。夏の直射日光に当たりたくない私としては、1位と3位は避けたいところです。そして、2位は涼しいといえば涼しいのですが、お金もかかりますし、、、というわけで、今年は新たな企画、「近所の川で魚採り&泳ぐ」を提案してみました。

この企画は果たして涼しいのでしょうか?体温が上昇してきたら川の水に浸かることで涼めます。また、橋の下であれば日陰が

できて直射日光を避けられます。水深が浅く、流速が遅い安全な場所で、橋の下の涼める場所を見つけることができれば、親の負担を軽減しつつ、子どもを楽しませることができることでしょう。Vol. 202「夏は川で涼もう!」で紹介した多々良川水系猪野川上流が第一候補ですが、もっと近所の川で子どもも大人も満足できるに違いない、ということで、今年は福津市内を流れる西郷川に出かけました。



西郷川風景

西郷川中流、なまずの郷運動公園のそばに、緩傾斜の自然護岸が設置されている場所があります。橋脚の直下に水深が深い場所がありますが、それを除けばせいぜい50cm程度の深さで、比較的安全です。今回、そこで家族4人、夏の暑い3時間を過ごすことにしました。川の中流であるにもかかわらず、透明度がとても高く、久しぶりに感動しました。上流にダムがないことなども、透明度が高い理由のひとつなのかもしれません。そして、Vol.205で紹介したヤマトシマドジョウの幼魚が砂に潜る瞬間などを見る



なまず神社



こまナマズ

ことができました。もちろん、ゴーグルやマスクを未着用で、水の上から覗き込むだけで、、、虫取り網クラスで、メダカやハヤの子ども、ドンコを捕まえることもできました。その他、ギンブナ、コイなどが、目視で確認できた魚類です。ただ、我が家の子どもは逃げる魚のスピードに対処できず、専ら、オタマジャクシやハイイロゲンゴロウなどを捕獲するのに夢中になっていました。

私の家族は参拝したことがありましたので、今回は足を運びませんでした。この西郷川中流付近にはナマズを祭った神社もあります。室町時代に西郷川流域を治めていた人物が戦いで負傷し、川を渡れずに難儀していたとき、大きなナマズが現れて背中に乗せて運んでくれたとのこと。入り口には狛鯰が、その参道の橋には鯰橋がありますし、境内には言い伝えに関する絵馬があります。秋篠宮さまも参拝されたほど、全国区の知名度を持つ神社です。なまズの郷運動公園のすぐ先にありますので、川遊びのついでにぜひ一度お立ち寄りください。

さて、我が家の西郷川遊びは、生き物採集に始まったわけですが、その後、なぜか水泳教室に変わり、小学校2年生の長男にバタ足をこと細かに指導しました。「手を伸ばす!」「あごを引く!」「足先をピンと伸ばしたままバタ足する!」などなど。そして、最初は口で指導するだけだったのですが、ついつい、指導に熱が入り、そして、子どもからの要望もあり、水深がたった

50cmしかない浅い川であるにもかかわらず、お手本を見せることに、、、。結果はご想像できるかと、、、。今、私の鼻の頭には小さな擦り傷が、、、。

今回の川遊びのお土産は擦り傷だけでなく、我が家のベランダには特設水槽が設置されています。赤ちゃんを風呂に入れるためのベビーバスに水が張られ、オタマジャクシがうねうねと泳いでいます。「この子たちはツチガエル?ヌマガエル?」私は淡水魚以外の野生生物にとてもうといので、どちらになるのかがとても気になります。この夏を過ごす上での新たな楽しみが増えました。さすがに観察日記はつけませんが、ベランダでタバコを吸うとき、「ツチっほくない?ツチっほいよね」とか、一人つぶやいております。

さて、最後に、川で遊ぶとき、天候、流量のチェックを忘れずに。そして、子どもだけで遊ばせないこと。マムシやスズメバチなどの生物には要注意。川底に捨てられた割れたガラス瓶、ダム放水などにも、、、昔は誰でも知っていた川での安全配慮。知っているつもりでも、意外に知らないことが多いので、しっかりとした配慮が必要です。安全に川を楽しんでいただくと幸いです。

鬼倉 徳雄 おにくらのりお

- 九州大学大学院農学研究院・助教
- 日本水環境学会九州支部・評議委員
- 日本魚類会自然保護委員会・希少魚類部会委員

主な著書／

- 有明海の生きものたち 干潟・河口域の生物多様性(佐藤正典編)
- 干潟の海に生きる魚たち 有明海の豊かさ(日本魚類学会自然保護委員会編)

水辺の鳥図鑑

川鳥
カワ ガラス

スズメ目カワガラス科
(学名:Cinclus pallasii)
広義には鳥綱スズメ目カワガラス科に
属する鳥の総称。



- 撮影者:犬鳴川流域文化研究会:中村氏
- 撮影地:犬鳴川流域

全身黒褐色で全長22センチメートル。短い尾を振りながら、岩の上を跳んだり、水に潜り底を歩いたりして、川の中の昆虫などをとらえる。夏季は標高1,500メートルほどの渓流にもいるが、冬期には下流

に下ることが多い。他種より早くからさえずり始め、繁殖開始も早く2,3月からであり、4~6個の白色の卵を産む。

協会からのお知らせ

九州地方治水大会福岡大会

- ◎日時:10月21日(金)
- ◎場所:福岡市
- 主催:全国治水期成同盟会連合会等

治水事業促進全国大会

- ◎日時:11月24日(木)
- ◎場所:東京都千代田区 砂防会館
- 主催:全国治水期成同盟会連合会

河川事業現地研修

- ◎日時:11月17日(木)~18日(金)
- ◎場所:兵庫県
- 主催:福岡県河川協会

福岡県災害復旧実務講習会(第2回)

- ◎日時:11月 予定
- ◎場所:福岡県建設技術情報センター
- 主催:福岡県県土整備部河川課・福岡県河川協会

表紙の説明

河川愛護絵画コンクール 特選作品

河川愛護月間(7月1日から7月31日)の行事として実施した、平成23年度河川愛護絵画コンクールの特選3名の作品です。



編集後記

関係者各位の御協力のもと、平成23年度通常総会を開催しました。総会の席上、河川愛護絵画コンクール特選、一等入賞者の表彰と、河川功労者の表彰を行いました。表彰された皆様おめでとうございます。今回の「かわ」は、総会と表彰の関係を主に掲載することにしました。シリーズの「福岡の身近な川とさかなを知ろう」は、近所の川での魚探りの記事です。(猿渡)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川課内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL : 092-633-2826(直通)
FAX : 092-643-3669
企画 セントラル印刷株式会社